

名古屋市2万人会員増強運動

「なごやかクラブ名古屋」～広げよう仲間づくりの輪～ 11

◆『平成29年度全老連活動賞』受賞クラブの紹介

老人クラブは、地域の状況に応じた多様な活動に取り組んでいます。全老連の『活動賞』は、これらの活動の中で、特に他の範とするにふさわしい先進的な取り組みを行っている単位クラブまたは連合会に対し授与されます。

今年度は、「上野学区長寿会(千種区)」、「明徳会グランドゴルフクラブ(名東区)」、「相生山緑会(天白区)」が受賞しました。

今回は、「相生山緑会(天白区)」の取り組みを紹介します。

相生山緑会は、会員数37名で構成されています。

相生山緑会は、町内会や愛護会等多くの地域団体と協力してボランティア活動を行っており、地域での広がりや結束の強さを感じられます。



町内会・区政協力委員会と協力してクリーンキャンペーンを行うとともに、老人クラブとしては、東海橋線第4街路樹愛護会を設立し、毎月第1日曜日午前9時から2時間程度清掃作業を実施しています。

また市老連として力を入れている独居老人訪問や買い物支援、見守り訪問等の友愛活動に熱心に取り組んでおり、地域での期待も高まっています。

世代間交流の一環として、小学6年生の課外授業として戦争体験を語る講座に参加しています。『戦争と平和を考える』をテーマに平成24年度から毎年講座を担当しています。

スライドを投影しながら当時の状況を説明しますが、子供たちは、ペチャペチャとおしゃべりもせず、真剣に聞か入っています。ただ「モンペ」等現代の子供たちが使わない言葉については、その意味についての質問が飛んできます。

一方、老人クラブ主催の「震災対策講話会」「防犯・交通安全の講話会」などを開催していますが、老人クラブ会員だけでなく、町内会にも参加を働きかけ、参加してもらうことにより老人クラブの活動を理解してもらうとともに、老人クラブへの入会につながっています。

会員の減少が続き厳しい状況の中で、意義ある活動を継続することにより、老人クラブの増強を図っています。

八木会長は、「老人クラブへ入る人が年々少なくなっている。地域に広がる行事、みんなが喜ぶ行事、魅力ある行事を老人クラブが実施して、地域とともに活動していきたい」と話されていました。



八木会長

平成29年度
全老連「活動賞」受賞

- ◎活動賞
- 上野学区長寿会(千種区)
 - 明徳会グランドゴルフクラブ(名東区)
 - 相生山緑会(天白区)
 - ◎100万人会員増強運動特別賞
 - むつみ北クラブ(南区)

全老連は、地域の実態に合わせた、多様な活動に取り組んでいる老人クラブに対して「活動賞」を贈呈しています。名古屋市老連では、次の団体が受賞されました。

【2日目】
込山厚生労働省老健局振興課長から「介護保険制度をめぐる施策の動向と老人クラブへの期待」をテーマに講演が行われ、今後生産年齢人口の

減少が見込まれるので、高齢者の社会参加が求められる。また老人クラブの事業(活動)が新地域支援事業として認められるよう、市町村に積極的に働きかけましようとの話がありました。

【1日目】
はじめに松寿全老連副会長から「会員数の減少」「新地域支援事業への関わり合いを増やす」にいかに対処していくかが大きな課題であるとのあいさつがありました。

続いて谷野全老連事務局長から「老人クラブ組織の発展に向けて」をテーマに高齢者を取り巻く状況、老人クラブとしての運動・行動提案等についての講義が行われ、その後、横浜市都筑区、大阪府高石市の活動報告が行われました。活動報告の中で、解散クラブの情報早くつかみ、いち早く対処することが解散クラブの防止に役立っているとの報告がありました。

第35回 都道府県・指定都市老人クラブリーダー中央セミナー ～東京・新霞が関ビル全社協会議室～

最後に齊藤全老連常務理事のあいさつがあり「自治会と仲のいいクラブは元気がい、元気がいいクラブは人が集まる」と活動報告の感想を述べられました。

(広報委員 中村 正)
(研修委員 小林 洋子)



その後、「市町村を進める、A新設のクラブづくり、B解散クラブの防止」をテーマにグループ協議を行い全体会で代表のグループが発表しました。